

国語

注意

- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上に置けるものは、受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削りです。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷がはつきりしなくて読めないときや、筆記用具を落としたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 「やめなさい」という合図ですぐに書くのをやめ、筆記用具を置きなさい。

答えの書き方

- 1 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えはていねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書かいしょで書きなさい。

1 放送による検査 (15点)

【資料】

資料1

**和語**  
日本固有の言葉

**漢語**  
中国から伝わった言葉  
漢字の音を用いて日本で作られた言葉

**外来語**  
中国以外の国から伝わった言葉

資料2

**三種の語の比較**

和語 …幸せ  
漢語 …幸福  
外来語…ハッピー

資料3

拝啓

おばあちゃん、いかがお過ごしですか。

(中略)

これから寒さが厳しくなります。お体を大切に  
お過ごしください。

十二月一日

敬具

田中 葵

田中光子様

2 次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次のア～オの――の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コ  
の――のカタカナの部分かじょうを楷書で漢字に書き改めなさい。

ア 花束が芳香かうかうを放つ。

イ 両方の請求を棄却ききやくする。

ウ 劇団を主宰しゅざいする。

エ 針を使って洋服を繕つくろう。

オ 約束まで時間を潰つぶす。

カ 安全第一が作業のテツソクだ。

キ 船がキテキきてきを鳴らして進む。

ク 社会のコンカンこんかんにかかわる問題。

ケ 生徒をヒキひきいて見学に行く。

コ 決定を他の人にユダユダねる。











---

6

## 国語放送台本

今から、国語の、放送による検査を行います。はじめに、解答用紙を出して、受検番号を決められた欄に記入してください。

(問5秒)

次に、問題用紙の2ページを開いてください。

(問2秒)

□一は、【資料】を見ながら放送を聞いて、質問に答える問題です。

(問2秒)

ある中学校の国語の時間に、田中さんが調べたことについて資料を使って発表しました。これから、その発表と、発表後の質疑応答の様子を紹介합니다。そのあとで、四つの問題を出します。それを聞いて、解答用紙の(1)、(2)、(3)、(4)、それぞれの欄に答えを書きなさい。発表と質疑応答の様子、問題は、それぞれ一回しか言いません。必要なことは、メモを取ってもかまいません。

それでは、始めます。

(問3秒)

以上で発表を終わります。質問はありませんか。工藤さん、どうぞ。

(問2秒)

【工藤さん】

はい。どのような和語を使って、手紙を書きますか。

(問2秒)

【田中さん】

はい。「木枯らし」という和語を使って、手紙を書きましょう。「木枯らし」の意味は「冬の初めに吹く、冷たい風」です。時候の挨拶を和語で表しましょう。

(問3秒)

以上、田中さんの発表と質疑応答の様子の紹介は、ここまでです。続いて問題に移ります。

(1)の問題。田中さんは、授業で和語・漢語・外来語を勉強したとき、どのようなことを感じたと言っていましたか。書きなさい。

(問20秒)

(2)の問題。田中さんは、和語にはどのような魅力があると言っていましたか。書きなさい。

(問20秒)

【田中さん】

私は、授業で和語・漢語・外来語を勉強しました。そのときに感じたのは、日本語は奥が深いということです。そこで、和語・漢語・外来語の特徴や使い方について、さらに調べてみることにしました。

資料1を見てください。和語は、漢字を訓読みする語のことで、日本固有の言葉です。親しみやすく意味を捉えやすいので、日常会話でよく使われます。日本語には他にも漢語、外来語があります。漢語は、漢字を音読みする語のことで、中国から伝わり、日本語として用いられた言葉です。また、日本で作られた漢語もあります。複雑な内容を短い形で表せるので、ニュースや新聞などでよく使われます。外来語は、通常カタカナ表記され、中国以外の外国語に由来し、日本に定着した言葉です。新鮮さや軽快な印象を与えるので、学問の用語や商品名などで使われます。

資料2を見てください。この三種の語を比較してみると、例えば「幸せ」は和語で、同じ意味の漢語は「幸福」、外来語は「ハッピー」になります。響きや語感の違いが分かると思います。

日本人は和語を中心に漢語や外来語を場面に応じて使い分けてきました。どの語ももちろん大切ですが、私は、日本で生まれ、受け継がれてきた和語には、優しさや華やかさを添える魅力があると思います。和語を会話や電話の応対、手紙などに盛り込むことで、相手や状況に、よりふさわしい表現が可能になると思います。

そこで、みなさんに提案です。今から和語を使って、手紙を書いてみませんか。和語を使うことをとおして、語彙を豊かにしましょう。

(3)の問題。田中さんの発表の仕方の説明として最も適切なものを、これから言う、1、2、3、4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 聞き手の理解を深めるために、グラフや図表を取り入れながら、分かりやすく説明している。
- 2 自分の考えを効果的に示すために、最初に提案を述べ、続いてその理由を順序立てて説明している。
- 3 説得力を高めるために、収集した情報を整理し、比較したあとで、自分の考えを説明している。
- 4 話の内容を十分に伝えるために、自分の体験をあげながら、聞き手の関心に合わせて説明している。

(問10秒)

(4)の問題。田中さんが提案していた「木枯らし」を使って、資料3の空欄に入る時候の挨拶を一つ書きなさい。

(問35秒)

これで、放送による検査を終わります。では、あとの問題を続けてやりなさい。